

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102898
法人名	株式会社 ケアセンターとかじ
事業所名	グループホーム 清風
所在地	松山市味酒町1丁目9番地15
自己評価作成日	平成23年10月2日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年10月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

環境整備に力を入れ安全に生活して頂いています。残存機能を理解しADL低下の先延ばしをする為に努力しています。
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

職員は、利用者に「どんなおせち料理が食べたい？」と希望をお聞きしながら、大晦日から利用者の方と一緒に手作りされており、毎年、利用者に喜ばれている。 事業所では22年の初めにAEDを設置されており、地域の避難場所にもなっている。6月には消防署の協力を得て、防火避難訓練を実施された。職員は消火器の使い方を教えてもらったり、利用者を避難誘導する際のアドバイスをいただいた。事業所では、東日本大震災後、災害対策について話し合いを何度も行い、非常食の確認や、各ユニットの利用者の情報共有の仕組みについて確認をされた。さらに「自主点検チェック表」に沿って、毎月消火器やコンセントの埃の点検を職員が順番で行う体制を作られた。地域の自主防災訓練には職員2名が参加され、AEDの使い方の講習や炊き出しに参加された。
--

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等がサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム清風

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)  
氏名 阿部真之介

評価完了日 平成23年10月2日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を見やすい所に貼り取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			「生命の質 生活の質 人生の質を大切に考える福祉を基 本理念とする」の、法人理念を居間に掲示しておられる。法 人理念に沿ってケア理念を作成しているユニットもあり、共用 空間に掲示して職員で共有して、より具体的に理念を実践 できるよう努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			地域活動(運動会・文化祭・防災訓練・地域の清掃など)に 積極的に参加。又、管理者は味酒地区の体育協会に入っ ており、地区の行事では役員として参加。準備から実行まで関 わっている。	
			(外部評価)	
			10月の地方祭には、職員も神輿を担ぐ等して地域の方と一 緒に活動された。おとな神輿やこども神輿が事業所の前 に来てくれて、利用者は見物されたり、神輿を近くで拝めて喜 ばれた。又、子ども達にジュースやお菓子を配り、お接待を された。9月には地域の方がそうめん流しの大きな竹を貸し てください、又、コツ等も教えてくださって、事業所の屋上で 楽しまれた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議などで活動の報告や情報交換を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>2か月に1度開催し、地域や行政の方にも参加して頂き意見交換。その後のサービス向上に活かしている。</p>
			(外部評価)	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>介護保険の更新申請時など、その都度市町村と連携を取り協力関係を築いている。</p>
			(外部評価)	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>身体拘束マニュアルの作成、身体拘束廃止の勉強会を行い職員全員の周知の徹底、ケアに取り組んでいる。又、外部の研修などにも参加しケアに活かしている。</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  勉強会、研修への参加を積極的に行っている。新人研修の際にも虐待予防のマニュアルから話している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  現在利用は無いが、勉強会、研修への参加し活用できるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  十分に説明し納得していただき、同意を得た上で署名、捺印を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  苦情相談窓口を設けており、その旨を施設内に掲示している。又、契約時にもその旨を説明しており、外部に苦情相談先も説明している。家族の来訪時に近況報告と共に意見や要望を確認している。  (外部評価)  事業所では、毎月、ご家族にご本人の様子や近況を個別にお手紙と写真で報告されている。ご家族の来訪は多く、利用者ご本人から聞いたことを伝えてくださることもある。事業所で100歳の利用者の長寿のお祝いを行った際には、ご家族も参加していただき、ともに祝われた。職員は、さらに「日々の報告を細やかにしたり、お話をしてご家族と信頼関係より築いていきたい」と、話しておられた。	運営推進会議で話し合ったような内容やサービス評価の取り組み・家族アンケートの集計表等、事業所のサービスの質を良くするための取り組みについて、より具体的にご家族に報告されてはどうだろうか。そのような取り組みをきっかけにして、ご家族からさらに具体的な意見や要望を探り、事業所のケアサービスの向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日常的に話をしながら行っている。	
			(外部評価)	
			職員は、利用者に「どんなおせち料理が食べたい？」と希望をお聞きしながら、大晦日から利用者の方と一緒に手作りされており、毎年、利用者に喜ばれている。レクリエーションのゲーム内容や材料作りも職員でアイデアを出し合い、行っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			日常的に職員一人一人と接し、適時アドバイスをしている。又、その際モチベーションの上がるような話をし、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			地域密着型サービス協会や外部の研修に積極的に参加している。会社内では、入社時の新人研修を行い、定期的な内部での研修も行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			現在、相互研修はしていないが、グループホーム研修や地域包括の研修などで交流している。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			努めている。入居前にはご本人様、ご家族様と話をする機会を設け不安事や要望を聞き、入居後にも役立てている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>努めている。ご家族とよく話し不安や要望などには具体的なケアの内容の説明。安心して頂けるよう努力している。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気持ちや体調を考慮し、要望に応えられるよう努力している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全員ではないが一緒に掃除、洗濯、調理などの家事を行っている。料理の味付けも教えて頂いている。もっと一緒に何かを行う機会を増やしていきたい。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に連絡をとり、一緒に外出や外泊をされたり、状態変化時の病院受診にご家族に同行して頂いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>希望される利用者様には散歩時に、以前から仲の良かった方の家に行きお話されたりしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>近所の商店街をよく利用されていた方と、洋服等を買いに出かけておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	個別に信頼関係が築けている方も多く、それぞれ共通する好みをみつける。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	入院した際、お見舞いに行ったりしている。
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	今までの生活を、出来る範囲で継続していけるように支援している。
			(外部評価)	
			利用者一人ひとりの「入居者調書」には、入居時にご家族やご本人から聞き取った情報や、入居後に職員が知り得た情報を記入して蓄積されてる。意思疎通が難しい利用者の中には、お好きな曲を流すと、体を動かせる動作がみられる方もある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	職員で情報を共有して把握している。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	毎日細かく記録して把握に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>要望があればその都度検討し介護計画にも取り入れている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、6ヶ月毎に見直しをされている。新しく入居された場合や退院時等には、期間を短くして状態変化に応じ見直しおられる。ご本人・ご家族の希望や、ご本人の状態によっては、主治医や看護師の意見を取り入れて、介護計画を作成されている。ご本人は「元気に自分らしく暮らしたい」「外に出ると足がガクガクする。家の中ではどうもないのに」等のご本人の希望や言葉に沿い、「たまに外に散歩に連れて行って欲しい」「穏やかに過ごしてくれたら良い」等のご家族からの意向も取り入れ、計画を作成しておられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日細かく記録に残し介護計画に活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事業所だけでなく法人内で検討し支援している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各関係機関と協力し行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	<p>母体病院との連携ですぐに対応できるようになっている。</p>	
			(外部評価)		
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	<p>普段と違う気づきを大切に小さい事でも相談。情報の共有に努めている。母体病院の看護師とも連携をとっている。</p>	
			(外部評価)		
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	<p>お見舞いに行ったり、必要なものがあれば対応するなどの連携をとっている。</p>	
			(外部評価)		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>状態に応じ、その都度連携機関、家族とも話し合い意向を決めている。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 酸素ポンベの取り扱い方やAED使用方法などの説明や研修を行い日々努力している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災発生時などの対応訓練、消防立会いのもと防災訓練を定期的に行っており、マニュアルに基づいて実施している。又、地区や町内会の訓練にも参加している。	非常食の賞味期限が迫ることもあって、11月の運営推進会議時には「非常食の試食会」を行うことを予定されていた。地震発生時のマニュアルの作成や、管理者不在時や散歩時等、いろいろな場面を想定して職員の対応を検討されており、12月には新しいマニュアルに沿った避難訓練を実施することを予定されていた。事業所の建物や地域の条件等を踏まえて、実際に訓練を重ねられ、いざという時に利用者が安全に避難できるような方法を、すべての職員が身につけていかれてほしい。
			(外部評価) 事業所では22年の初めにAEDを設置されており、地域の避難場所にもなっている。6月には消防署の協力を得て、防火避難訓練を実施された。職員は消火器の使い方を教えてもらったり、利用者を避難誘導する際のアドバイスをいただいた。事業所では、東日本大震災後、災害対策について話し合いを何度も行い、非常食の確認や、各ユニットの利用者の情報共有の仕組みについて確認をされた。さらに「自主点検チェック表」に沿って、毎月消火器やコンセントの埃の点検を職員が順番で行う体制を作られた。地域の自主防災訓練には職員2名が参加され、AEDの使い方の講習や炊き出しに参加された。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 記録など個人情報、利用者の目の届かない所に保管する様になっている。	
			(外部評価) ベッド上で過ごす時間が長い方も、一日のうちに数回は他の利用者のいる居間で過ごせるように支援されている。調査訪問時、昼食時には、利用者が「かぼちゃが入るとカレーが甘くなるね。カレーにかぼちゃを入れるなんて気付かなかった」と、何度も繰り返される利用者、料理を担当された男性職員は、「ピーマンやオクラ、ナスも入れるとおいしいよ。」と、ていねいに対応しながら一緒に同じものを食べておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 可能限り御利用者様の意向をくめるように配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員のペースになりがちなどところがあるが、利用者様の意向を聞き取り入れる様に対応している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 1人1人に合わせた身だしなみができる様に支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 料理の下準備や食器拭き、片付けなど一緒に取り組んでいる。	食事作り一連の流れを通じて、利用者もかかわるような場面を増やしていかれてほしい。又、ご家族と事業所の食事支援について、気になることや気付いたこと等をお聞きするような機会も作ってみてはどうだろうか。
			(外部評価) 母体病院と同じ献立表を用いて、職員が順番で作っておられる。食材は、職員が買いに行かれたり、注文して配達してもらっている。利用者が「味付けがみんな違うから、誰が作ったかすぐわかるんよ。」と話しておられた。利用者のお誕生日には、ご本人の希望のメニューにされたり、外食をしてお祝いされている。利用者とおやつ作りもされていて、利用者が粉を混ぜてくださったたり、あんこを乗せてくださったたりして、どら焼きを作ったこともある。調査訪問時、食事前にテーブルを拭いておられる利用者がおられた。生ものは出されないよう、果物は缶詰のものを使っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 1人1人に合わせ支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 支援している。歯科往診時の口腔ケアに来て頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	<p>排尿パターンなど記録から知り、声かけや誘導をしてその方に合わせた支援を行っている。</p> <p>昼食前に職員は、利用者に「お昼ご飯の前なので、トイレに行っておきましょう」と、声をかけ誘導をしておられた。トイレに行きたがらないような利用者には、職員が「一緒にいきましょう」とお誘いしてトイレまで行かれる様子がみられた。</p>	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	<p>体操をしたり水分摂取をしてもらうよう声かけをしている。</p>	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	<p>御利用者様の体調や意向をきき、時間を合わせて支援している。</p> <p>基本的には、週に2回、午前と午後に分けて入浴を支援しておられる。ご家族と相談して、ご本人のお好きな色のタオルを用意していただき使用されている方もあり、利用者はご自分の力を使って顔を拭くことをされる様子もみられるようだ。</p>	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	<p>御利用者様の希望に応じ、居室に案内している。更衣や消灯などの介助を行っている。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  薬の情報を日頃から職員の一人一人が確認しており、御利用者様の体調の変化に気付けるよう努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)  出来る範囲で役割りを持って頂いている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)  散歩や買い物などの外出ができるように支援している。月一回はドライブレクで遠出をしたり、御家族様と外出や外食も多い。	
			(外部評価)  近くの公園に散歩に出かけたり、車でドライブをして外食されたり、デパートに買い物に行かれる方もいる。調査訪問時、利用者が「外に行くのが好きなんよ。外の空気にふれたら気持ちがいい」と話して下さった。	職員は、新型インフルエンザで控えておられた「初詣や椿さんへの外出も再開したい」と話しておられた。ご家族も一緒に外出する機会や、利用者個々の懐かしい場所や思い出深い場所等も探り出かけてみるような機会も作ってみてはどうだろうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)  その方に合わせ支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  希望時に連絡が取れる体制をとっている。電話では相手の声が聞き取り難い場合、職員が間に入り取り次ぎをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			季節によって壁の絵や玄関の小物を変えて、季節感を取り入れている。季節の花を楽しんで頂いている。	
			(外部評価)	
			それぞれのユニット入り口には、柿や栗、ハロウィンの置物を飾っておられた。調査訪問時には、利用者はテレビを見たり新聞を読んだりしてお好きな場所で過ごしておられる様子がみられた。お誕生日にプレゼントされたお花を、「みなに見てもらいたい」とテーブルに置いておられる方もいた。トイレには大きな字で「トイレ」と、表示されていて、トイレ内の水を流すボタンには、大きく「大」「小」と書いてあった。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			共有空間にいる事の少ない方もいるが、その方には家事に役割りをお願いしたりしている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			その方に合わせ使い慣れた物を持ちこんで頂いている。	
			(外部評価)	
			居室にはテレビ、鏡台、タンス、娘さんの絵画の作品等が飾られていたり、ハンガーにたくさんの洋服が掛けてあり、その日の気分でお好きな洋服を選べるようにされている。昼食後に、自室でラジオを楽しむ利用者もいる。居室の掃除は職員が行っておられるが、利用者もできることを行っておられる。利用者の衣服には必ず名前を記すようにして、間違いがないようにされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			1人1人に合わせた居室内の配置に気をつけ安全に生活できるように心がけている。	